

2011年駅伝シーズン開幕

伝統の日大復活へ

～実力のついた夏の大会～

1 第64回十和田八幡平駅伝競走大会（5区間 73.8km） Aチーム準優勝

区間新記録 1区1位 佐藤佑輔（法学部3年）
2区1位 堂本尚寛（文理学部4年）

40年振りに出場した母校Aチームは経験豊かな実業団チームとの戦いで2位に入る健闘を見せた。1走の佐藤佑輔（3年）2走の堂本尚寛主将（4年）が共に区間トップの快走、しかしベンジャミン（3年）4走 田村優宝（2年）で逃げ切れずHONDAに抜かれ惜しくも準優勝「この戦力ならいけると思っていた」と堂本主将も残念がるが実業団相手に良く頑張った。東洋大Aをうわまわり、自信に繋がったと鈴木監督も納得した大会であった。



2 天皇賜杯第80回日本学生陸上競技対校選手権大会 （於 熊本KKWING）

総合準優勝 駅伝主力選手好記録を上げる

10,000m
優勝 ガンドゥ・ベンジャミン（国際関係学部）タイム 28分 45秒 07
4位 田村 優宝（文理学部2年）タイム 29分 20秒 86
5000m
7位 佐藤 佑輔（法学部3年）タイム 14分 04秒 86
3000mSC
6位 吉田 貴大（経済学部3年）タイム 9分 09秒 63

秋の駅伝へ向かって好スタートした長距離陣

